

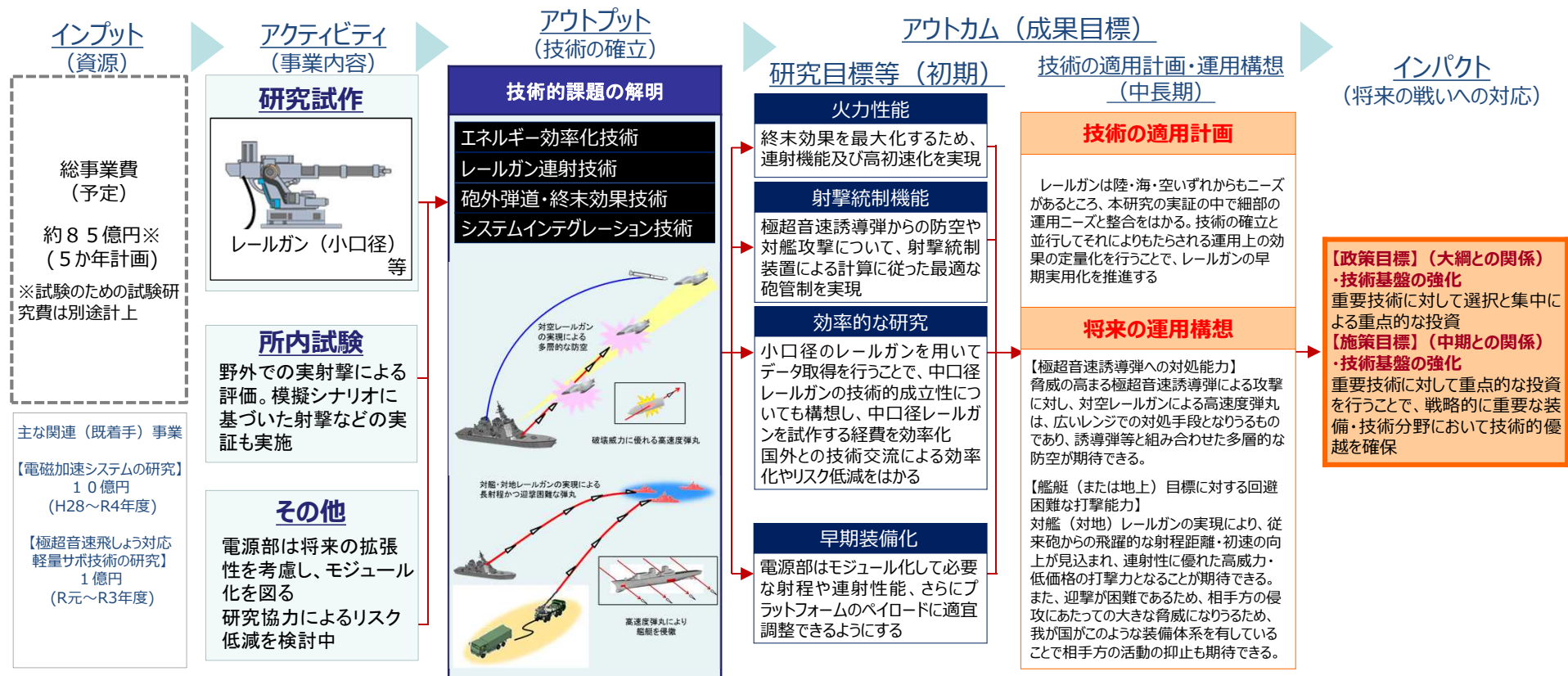
将来レールガンの研究

従来の装備品等では対処が困難な極超音速誘導弾に対する防空手段や、艦艇または地上目標に対して回避が困難な打撃を遠距離から与える手段となるレールガン※を構想し、高初速で弾丸を連射可能な将来レールガンに関する研究を行い、早期実用化に向けた技術を確認するものである。

※ レールガン：火薬の燃焼ガスではなく、電磁力により、弾丸を発射する砲

現状・課題

極超音速誘導弾の脅威が将来的に見込まれる中、対空レールガンによる高速度弾丸は、誘導弾等と組み合わせた多層的な防空が期待できる。また、対艦レールガンの実現により、連射性に優れた高威力かつ迎撃が困難である打撃力となることが期待できる。レールガンに関しては、先行研究より、電磁加速及びその際のレールの抗たん性を実証してきたところ、弾丸・射撃管制も含めてシステムとして技術を確認する必要がある。



＜研究開発実施線表＞

年度	4	5	6	7	8	9	10
実施内容	← 本事業 (研究試作) →				← 所内試験 →		

総合評価

従来の装備品等では対処が困難な極超音速誘導弾に対する防空手段や、艦艇または地上目標に対して回避が困難な打撃を遠距離から与える手段となりうるレールガンについて、早期実用化に向けて技術的成立性を確認するものであり、その必要性は理解できる。また、民生における電池電源技術の活用や、国外との技術交流を通じた更なる研究の効率化が期待されることから、本事業に着手することは妥当であると判断する。